

ふるさとのうた

剣淵文化協会俳句部会



さらさらと掌に新米の音こぼす
 旭 町 宝澤 房子
 陽の名残り道に散らして霜近し
 緑 町 池田 良子
 黄落ややすらぎといふ道半ば
 仲 町 玉野 研一
 秋の水光を乗せて流れけり
 西岡町 渋谷みさ子
 晴るる日を待ちて忙しき秋仕事
 西原町 児玉久美子
 老いの秋痛いこわいは言ふまいと
 南桜町 宮腰 幸子

新米のほっこり匂ふ塩むすび
 西 町 金澤 頼子
 新米を炊いて祝うは農終い
 元 町 印牧 安子
 柿甘く五七促す宵の口
 緑 町 齋藤 嘉子
 柿むけば熟柿の好きな母思う
 仲 町 坂部 和子
 柿ひとつ夫と分け合う午後後の幸
 元 町 西崎 弘子
 いつの日かあの銀漢の点となる
 屯田町 古屋 克江
 リンゴ剥く好きな力士も赤まわし
 仲 町 梅基 文字
 野良帰りぶどう一粒含みみる
 旭 町 大河 博子
 終活を楽しむ日々や秋深し
 旭 町 大河内清枝
 秋彼岸孫と団子をまるめけり
 西 町 岸波 君江
 秋ざれやそれぞれの癖靴底に
 西 町 杉浦とし枝
 傷あるも味は絶品りんごかな
 藤本町 鈴木ゆき子
 あじさいの赤き花びら押花す
 東 町 高草木喜代子
 紅葉の峠越え行く三回忌
 西岡町 高瀬久美子
 晩秋の景色を照らす木々の色
 東 町 高橋世津子
 あめ玉をいただく句会秋開ける
 西 町 文梨 清子
 ちゃんちゃんこ着込む鼻欠け六地藏
 仲 町 芳賀 星子



『くろっぺのおはなばたけ』

原作 飯島敏子
 作・絵 もとようこ
 (ひかりのくに(株))

こねこのくろっぺは、お花が大好きで、見つけるとすぐにつんでしまいます。困った近所の人たちはくろっぺに、あるものをプレゼントしました。するとくろっぺの気持ちに変化が occurred。

information

絵本の館から

新着図書

- ・しろいおひげの人 (はらだたけひで 絵と文) ・はかりきれない世界の単位 (米澤敬著) ・緋色のため息 (本村むつ子著) ・これでカンペキ！マンガでおぼえるコミュニケーション (齋藤孝著) ・見上げた空は青かった (小手鞠るい著) ・たとえ明日、世界が滅びても今日、僕はリンゴの木を植える (瀧森古都著) ・群境介のミニ盆栽コツのコツ (群境介著) ・絶品！とっておきのうちカレー (株) ナツメ社) ・おいしい！パンBOOK (株) 洋泉社) ほか

今月のおすすめ